

2011年3月12日から21日に福島原発から放出された9本のプルームに混入していた”**テルル毒入り・Csボール**“による日本列島および北半球CTBT観測局（ロシア、アメリカ、ヨーロッパ）の汚染マップ

山田國廣著

• 汚染マップのイベント 1~5の内容説明

- イベント1：9本のプルーム軌跡とプルームの到達日②到達地域③放出源
- イベント2：AタイプとBタイプのテルル毒入りCsボールの形状と構成核種および1号機放出プルームの汚染範囲、2号機放出の汚染範囲
- イベント3：つくば気象研ではAタイプCsボール内の放射性テルル（Te-129,Te-129m,Te-132）、ヨウ素（I-131,I-132）、セシウム（Cs-134,Cs-136,Cs-137）と安定テルル（Te-128,Te-139）、ウラン（U）等の高度化学毒物が同時検出されていた
- イベント4：日本列島7か所で原発事故直後に観測された大気浮遊塵にはCsボール内の放射性テルル（Te-129,Te-129m,Te-131m,Te-132）、ヨウ素（I-131,I-132,I-133）、セシウム（Cs-134,Cs-136,Cs-137）が実測されていた
- イベント5：北半球・CTBT観測所（ロシア、アメリカ、ヨーロッパ）では福島原発事故後にCsボール内の放射性テルル、ヨウ素、セシウムが観測されていた



イベント1~5の内容説明

イベント1: 9本のプルーム軌跡とプルームの到達日②到達地域③放出源

イベント2: AタイプとBタイプCsボールの形状と構成核種および1号機放出プルームの汚染範囲、2号機放出の汚染範囲

イベント3: つくば気象研ではAタイプCsボール内の放射性テルル、ヨウ素、セシウムと安定テルル、ウラン等の化学毒物が同時検出されていた

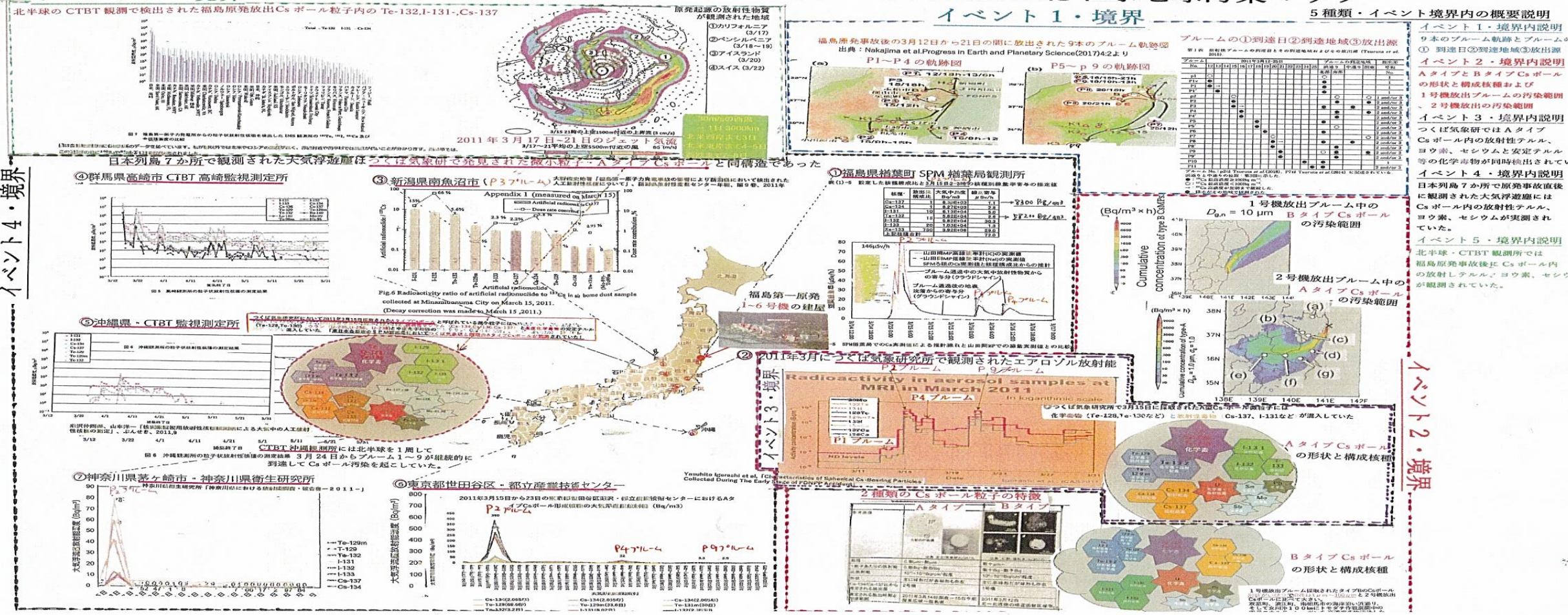
イベント4: 日本列島7か所で原発事故直後に観測された大気浮遊塵にはCsボール内の放射性テルル、ヨウ素、セシウムが実測されていた

イベント5: 北半球・CTBT観測所では福島原発事故後にCsボール内の放射シテルル、ヨウ素、セシウムが観測されていた

2011年3月12日から21日の間に福島原発から放出された9本のプルームに混入していた

イベント5・境界

"テルル毒入り Cs ボール"による日本列島及び北半球地球汚染マップ



①つくば気象研究所および関東圏のSPM観測所において2011年3月15日採取された2号機放出プルームから採取されたAタイプCsボールと呼ばれる微小粒子には放射性テルル (Te-129,Te-129m,Te-131m,Te-132 ; 放射能毒+化学毒),放射性ヨウ素(I-131,I-132,I-133 : 放射能毒),放射性セシウム (Cs-134,Cs-136,Cs-137 : 放射能毒) と安定テルル (Te-128,Te-130 : 高度化学毒物) ,ウラン (U : 高度化学毒物)とアンチモン (Sb : 中等度化学毒物) 、スズ (Sn : 中等度化学毒物) ,モリブデン (Mo:中等度化学毒物) 、鉛 (Pb : 中等度化学毒物) などが混入していた。

◎Aタイプ・テルル毒入りCsボールの形状 (球形で1 μ m程度の大きさ) と化学毒物と放射性毒物が混入するモデル図

